

## 国際シンポジウム「ジェンダーと平和・安全保障」開催趣旨

武力紛争下の組織的な性暴力は“戦争にはつきものの現象”とされ、長い間、対策・政策が必要な課題として認識されてこなかった。しかし、1990年代の女性の人権確立のための国際的な運動の高まりや、それまで沈黙してきた世界中の被害者・サバイバーが声を上げたことなどにより、国際社会が取り組むべき問題として認められるようになった。さらに市民社会は、武力紛争下の性暴力の根本的な解決としてジェンダー平等の重要性を訴え、紛争や平和安全保障政策にジェンダーの視点を導入する運動を始めた。

そのような市民社会の粘り強い運動の一つの結実が、ジェンダーをテーマとした初めての国連安保理決議1325号「女性・平和・安全保障」(2000年10月採択)である。決議1325号は国連、加盟国政府、武力紛争当事者に対して、平和安全保障関連政策やポスト紛争社会の平和構築政策にジェンダーの視点を導入することなどを促している。毎年10月には安保理で公開セッションが開催され、決議1325号やその後に国連で採択されたジェンダー関連の決議の確実な実施に関する議論が行われている。

基調講演「ジェンダー平等と平和——国連安全保障理事会決議1325号と国連のイニシアチブ」はアンワラル・チャウドリー元バングラデシュ国連大使(ニューヨーク在住)によるものである。チャウドリーア大使は2000年3月に安保理議長として初めて、ジェンダー平等と平和は不可分であるという議長声明を発表するなど、決議1325号の採択に安保理の中で尽力し、その後も国連でジェンダー平等と平和に関する活動を継続している。

その後のパネルディスカッションでは、ジェンダーの主流化政策と平和安全保障政策に関する議論を行う。



### 「**アンワラル・チャウドリー氏 略歴**」

バングラデシュ出身。バングラデシュ国連大使(ニューヨーク、1996年～2001年)、チリ、ニカラグア、などの大使を歴任。元国連事務次長、元国連上級代表(2002年～2007年)。また、ウ・タント平和賞やユネスコ平和の文化ガンジー・ゴールド賞などを受賞。

### ■当日のプログラム(予定)

- 13:00 開場
- 13:30 挨拶
- 13:50 基調講演「ジェンダー平等と平和」  
質疑応答
- 14:50 - 15:10 休憩
- 15:10 パネルディスカッション  
「ジェンダーの主流化政策と紛争、平和、安全保障」
- 17:30 閉会

### ■立命館大学 衣笠キャンパスマップ



#### Access

- JR・近鉄京都駅より 市バス 50 にて「立命館大学前」下車
- JR・近鉄京都駅より 市バス 205 にて「衣笠校前」下車、徒歩10分
- JR・近鉄京都駅より JRバス 高雄・京北線にて「立命館大学前」下車
- 阪急 西院駅より 市バス 205 にて「衣笠校前」下車、徒歩10分
- 阪急 西院駅より 京福電鉄 嵐山本線・北野線にて「龍安寺駅」下車、徒歩6分
- 阪急 西院駅より 京福電鉄 嵐山本線・北野線にて「待合院駅」下車、徒歩6分

- 阪急 大宮駅より 市バス 55 にて「立命館大学前」下車
- 京阪 三条駅より 市バス 15・59 にて「立命館大学前」下車
- JR・地下鉄 二条駅より 市バス 15・55 にて「立命館大学前」下車
- JR 円町駅より 市バス 15 にて「立命館大学前」下車
- JR 円町駅より 市バス 204・205 にて「衣笠校前」下車、徒歩10分

### ■ 交通アクセス



駐車場、駐輪場はございませんので、公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。